

パリ市内で採取された希少な蜂蜜 「Miel de Paris(パリの蜂蜜)」を12月1日より新発売

リンベル株式会社(以下リンベル、本社:東京都中央区、代表取締役社長:東海林 秀典)は、フランス・パリの老舗蜂蜜店「LA MAISON DU MIEL(ラ・メゾン・デュ・ミエル)」の「Miel de Paris(パリの蜂蜜)」を、リンベル ギフトブティック HINKA RINKA 銀座(東急プラザ銀座内)にて12月1日より販売いたします。今後はリンベル WEB サイトでの販売や当社のカタログギフト「スマートギフト」への掲載も予定しています。



「Miel de Paris(パリの蜂蜜)」は、ヴァンセンヌの森、モンソー公園、プランタンデパートなど、パリ市内で採取された年間200kg、1600個分しか採れないという大変希少な蜂蜜です。パリの「LA MAISON DU MIEL」直営店、パリ市内のデパート「ギャラリーラファイエット」にて取り扱われています。

ベースとなる花はパリの街角の風景にかかせないティヨル(菩提樹)やマロニエなど。ティヨルの花の蜂蜜は爽やかな味わいが特徴で、そこに栗の花のこっくりとしたまろやかな味わいが加わることで、良いバランスの蜂蜜になっています。加えて市内に咲く様々な花の蜜が混ざっており、その年によって味が微妙に変わる点も楽しい商品です。

パリ市内には草花が多く、定期的に植え替えられるため継続的に開花しており、蜂蜜の収穫が安定していることに加え、15年前からパリ市内の植物には農薬の使用が禁止されたため蜂蜜の品質が限りなくナチュラルであることが、パリ市内で蜂蜜の採取に乗り出すきっかけとなりました。また近年、建物内の気温上昇を抑える対策として屋上の緑地化が奨励されており、蜂の巣を市内の大規模な建造物の屋上に設置することも、建物屋上緑地化プロジェクトの一環となっています。

リンベルでは、2016年よりカタログギフトで「LA MAISON DU MIEL」の蜂蜜の取り扱いを開始(現在は4種類)。累計1万個を超えるお申込をいただいている人気商品です。2020年には更なるラインナップ増も予定しています。

【LA MAISON DU MIEL について】

1898年創業の老舗蜂蜜専門店、パリでは「一家にひと瓶」と言われるほどのメジャーブランドです。パリ9区にて100年以上の歴史を持ち、フランス産を中心にアカシアなどのスタンダードな味わいから、ユーカリなどの希少なものまで50種を超すフレーバーを販売しています。国外にも多くのファンを持つ蜂蜜の名店です。

—— 本件に関するお問い合わせはこちらまで ——

《報道関係の方からのお問い合わせ先》

03(3246)1145 広報担当 : 桑野・秀平

《お客様からのお問い合わせ先》

03(3246)1122

■商品概要

商品名：Miel de Paris(パリの蜂蜜)

内容量：125g

価格：3,000円(税抜)

■取扱い

リンベル ギフトブティック HINKA RINKA 銀座(東急プラザ銀座 4F)

リンベルホームページ(<http://www.ringbell.co.jp/>)

■会社概要

商号：リンベル株式会社

代表者：東海林 秀典

本社所在地：東京都中央区日本橋3丁目13番6号

設立年月日：1987年7月3日

資本金：354,467,500円

事業内容：ギフトの企画・販売、卸売業

以上